

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	38-2																												
PDCA	主要事業名	新病院建設事業	部課名	半田病院管理課	担当		鈴木																												
					内線		22-9881																												
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 3 - 2 単位施策： 半田病院 全体事業期間： 令和4年度～4年度 全体事業費等： 31,388,831 千円 会計 半田病院事業会計 歳出科目： 01. 01. 02																																		
	事業概要等		現病院の老朽化・狭あい化、耐震面での課題を解消し、最新医療機器の導入とあわせて急性期医療をさらに高度化するとともに、新たな感染症にも対応でき、大規模な自然災害時にも継続可能な新病院を建設する。 令和7年春の開院に向けて、新病院の建設設計、医療コンサルタント、新病院建設工事、工事監理等を実施する。																																
	事業目的		知多半島医療圏の中南部の地域の人に、良質な医療を途切れなく安定的に提供し、安心して暮らせる医療環境を守るため。																																
	事業内容		令和7年春の開院に向けて、新病院の建設設計を完了させ、令和4年7月から土地造成工事、11月から本体工事に着手する。																																
	問題点・課題等		半導体不足、カーボンニュートラル、建設業界の働き方改革、新型コロナの影響等による建設資材等の価格高騰や納期の遅れを注視する必要がある。																																
	予算額		主要事業とする理由																																
	2,808,350 千円		現病院の老朽化・狭あい化、耐震面での課題を解消し、知多半島中南部全域における中核病院として、継続的に医療を提供するため。																																
	財源内訳		得られる成果																																
	市費 188,675 千円		現病院の老朽化・狭あい化、耐震面での課題を解消し、最新医療機器の導入とあわせて、医療環境の変化にも対応できる拡張性の高い新病院を建設する。																																
	国費 0 千円		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">事業進捗率</td> <td>実績値</td> <td>2.7</td> <td>5.1</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>2.7</td> <td>5.4</td> <td>15.1</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	事業進捗率	実績値	2.7	5.1	—	%	目標値	2.7	5.4	15.1	%											
目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位																														
事業進捗率	実績値	2.7	5.1	—	%																														
	目標値	2.7	5.4	15.1	%																														
県費 0 千円																																			
その他 2,619,675 千円																																			
D 実績値と成果	決算額		得られた成果																																
	2,391,755 千円		事務局会議、各種分科会等で新病院建設に必要な課題を段階的に整理し、病院関係者と協議を重ね決定し、実施設計を完了し、建築確認済証の交付を受けることができた。造成工事、建設工事の契約を締結し、工事に着手した。																																
	成果指標					令和4年度	単位																												
	事業進捗率		実績値	12.4		%																													
		目標値	15.1		%																														
C 課題の整理	事業の評価・課題		B 設計者と施工予定者、エネルギーサービス事業者とともに事務局会議、各種分科会、運用ワーキンググループを開催し、新病院の設計に必要な詳細な情報・運用方法を共有し、実施設計を完了することができた。建設資材の価格高騰については、刊行物等から適正な価格を確認し、補正予算で対応した。資材の納期の長期化については、施工予定者と協議のうえ、先行手配することで工期を遅延することなく資材確保することができた。半田病院と常滑市民病院の地方独立行政法人化・経営統合に向け、知多半島総合医療機構設立準備会議等で新法人の診療機能分担案など様々な課題等について協議し、半田市立半田病院・常滑市民病院統合会議において決議を得た。また、診療機能分担案について、知多半島構想区域地域医療構想推進委員会等に報告、承認を得た。																																
	今後の事業の方向性		現状維持 令和7年度春の開院に向け、各種法令等に適合するよう新病院を建設し、建築基準法の規定による検査済証、病院開設許可の交付を受ける。 知多半島総合医療機構設立準備会議及び病院経営統合準備会議等において、令和7年4月の経営統合、地方独立行政法人化に向けて引き続き課題整理を行い、協議する。																																
A 今後の課題の解決に向けた	観点別評価		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">必要性</th> <th colspan="2">有効性</th> <th colspan="2">効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市の関与の妥当性</td> <td>妥当</td> <td>④上位施策への貢献</td> <td>大きい</td> <td>⑦コスト削減余地</td> <td>ある</td> </tr> <tr> <td>②市民ニーズ</td> <td>高い</td> <td>⑤成果向上の余地</td> <td>ない</td> <td>※手段の変更</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③休廃止の影響</td> <td>大きい</td> <td>⑥類似事業の有無</td> <td>ない</td> <td>⑧受益者負担適正化余地</td> <td>ない</td> </tr> </tbody> </table>					必要性		有効性		効率性		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	※手段の変更		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない				
	必要性		有効性		効率性																														
	①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある																													
	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	※手段の変更																														
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																														

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用